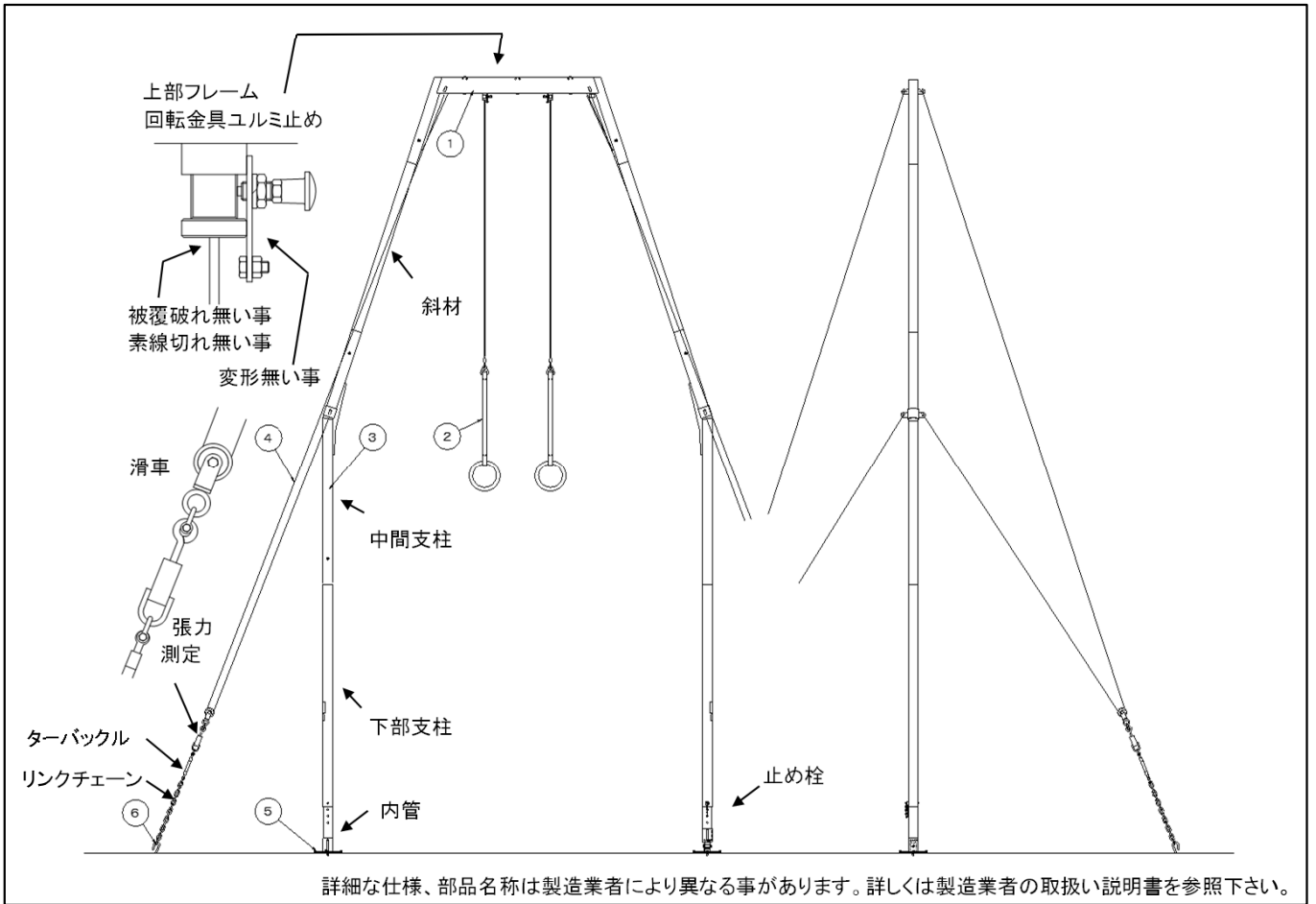


安全点検マニュアル(つり輪)

| | | |
|-----------------|------|----------------|
| 点検日 平成 年 月 日 | 施設名称 | 点検者 |
| 製造業者名 | 製品番号 | シリアルNo |
| | | 納入年月日 年 月 日 |



| 点検パーツ | 方法 | 項目と点検内容 | 定期点検時期 | 標準耐用年数 | 点検結果 | 判定結果 |
|----------------------------|-------|---|--------|--------|------|------|
| ① 上部フレーム (回転金具ユルミ止め) | 目視 | フレームに破損、変形、サビが無い事。回転金具ユルミ止め部品の変形が無い事。 | 6か月毎 | 10年 | | |
| | 目視 | 回転金具ユルミ止め部品の動作不良、変形が無い事。回転金具ユルミ止め部品の変形が無い事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| ② リングベルトワイヤ | 目視・触診 | リングに割れ、ささくれ、変形が無い事。 | 3か月毎 | 2年 | | |
| | 目視・触診 | ベルト表面にヒビ割れ、ささくれが無い事。テーピングを取りのぞき両端部まで確認する事。 | 3か月毎 | 2年 | | |
| | 目視・触診 | ベルト両端ループ内側にヒビ割れ、ささくれが無い事。テーピングを取りのぞき確認する事。 | 3か月毎 | 2年 | | |
| | 目視・触診 | ベルト両端部のリベットのユルミ、脱落が無い事。テーピングを取りのぞき確認する事。 | 3か月毎 | 2年 | | |
| | 目視 | ワイヤ本体、ワイヤ両端ロック部 および被覆に破れ、素線切れ、ささくれが無い事。 | 3か月毎 | 2年 | | |
| | 目視 | ワイヤ端の特ボルトのネジ山摩耗、つぶれが無い事。 | 3か月毎 | 2年 | | |
| ③ 支柱フレーム (斜材、中間支柱、下部支柱、内管) | 目視 | フレームに破損、変形、サビが無い事。 | 6か月毎 | 10年 | | |
| | 目視・触診 | 止め栓に破損、変形、サビが無い事。しっかりと挿入できる事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| ④ 緊張索 (ワイヤ、ターバックル、リンクチェーン) | 目視・触診 | ワイヤ本体およびワイヤ両端ロック部に素線切れ、ささくれが無い事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| | 目視・触診 | ターバックルのネジ山がつぶれていない事。動作不良が無い事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| | 目視・触診 | 滑車がストレス無く回転する事。ボルトナットにユルミが無い事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| | 目視・触診 | 張力測定器が変形、破損、動作不良となっていない事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| | 目視 | リンクチェーンに破損、変形、サビが無い事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| ⑤ 土台 | 目視・触診 | 可動部分が固着していない事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| | 目視 | 裏面のピンが破損、変形していない事。 | 3か月毎 | 5年 | | |
| ⑥ S環 | 目視 | 破損、変形、伸び、サビが無い事。 | 3か月毎 | 5年 | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-------------|---|----------------------|
| 点検結果 記入例 | 確認 (異常無) | 摩耗有 | ゆるみ有 | 変形有 | 欠損有 | 劣化有 | 老朽化有 | 破損有 | その他 | 判定結果 記入例 | ○ | 問題無。この点検作業の範囲では異常無し。 |
| | ✓ | w | y | u | p | l | x | b | e | | △ | 要注意。早めの部品交換などの対応推奨。 |
| | | | | | | | | | | | | × |

点検実施時期、標準耐用年数は一般的な使用方法、頻度を基に想定されております。器具を使用する際は日常的に使用前点検を実施される事をお勧めします。(点検実施時期、標準耐用年数は「スポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き」公益財団法人日本体育施設器具部会発行より引用)

点検時メモ (点検時に気付いた項目をメモしましょう)

注意①: 点検により重大な問題(例: 変形、ヒビ割れ、ワイヤ素線切れ)が確認された場合は、直ちに使用を中止し、製造業者、または販売代理店にすみやかに連絡を取り、修理または交換等の適切な処置をしてください。
 注意②: 危険を伴う作業(高所作業など)や、専門的な作業(分解・点検など)を伴う場合は、年1回以上の点検を専門業者へ依頼されることをお勧めします。